

2. 減災対策協議会に関する取組

「要配慮者等利用施設の避難訓練実施促進」に関する取組

令和6年度アンケート結果報告

令和7年3月12日

要配慮者施設における避難訓練の実施促進に向けた各種調査の実施

＜令和6年度の取組内容＞

要配慮者等の避難体制構築の支援を目的として、“現場の声（実態）”を把握するために、要配慮者利用施設等へアンケート調査、意見聴取（ヒアリング）を実施し、課題・要望等を踏まえて支援方策（案）の検討を行う。

主な実施内容）

- ・学識者意見聴取
- ・要配慮者利用施設等への避難行動に関するアンケート調査
- ・要配慮者利用施設等の大規模水害時の避難に関する意見聴取
- ・要配慮者利用施設等の水害避難に関する支援方策検討

■ヒアリング調査

◎調査日：令和6年11月14日（木）～19日（火）

◎対象施設：江戸川区内の要配慮者利用施設5施設（障害者入所施設、特別養護老人ホーム、高齢者・障害者が利用する複合型施設、グループホーム、デイサービスセンター）

■アンケート調査

◎調査日：令和6年12月16日（月）～令和7年1月17日（金）

◎対象施設：江戸川区内の要配慮者利用施設1,020施設

◎回収数：413票（回収率：40.5%）

ヒアリング調査（令和6年11月）結果

■ヒアリング調査の対象施設

No	施設名称	分野	計画作成	訓練実施	想定災害（洪水）
1	障害者入所施設	障害・入所	○	○	（荒川）3.0～5.0m未満／2週間以上
2	特別養護老人ホーム	介護・入所	○	○	（利根川）3.0～5.0m未満／2週間以上
3	高齢者・障害者が 利用する複合型施設	介護・入所	○	○	（江戸川・利根川）0.5～3.0m未満／1～3日未満
4	グループホーム	障害・入所	○	×	（荒川）0.5～3.0m未満／2週間以上
5	デイサービスセンター	介護・通所	×	×	（荒川）3.0～5.0m未満／2週間以上

■調査結果の整理

訓練実施が進まないと思われる理由

- ・職員も正直イメージを持てていない人もいると思う。水害時の行動のイメージが持てれば、計画作成や訓練実施への関与も望めるが、なかなか難しい。
- ・訓練のやり方（シナリオ）やイメージがわからないことが一番の要因だと認識する（地震・火災は義務教育でも取り組んでいたりイメージしやすい）。
- ・火災はシンプルでイメージしやすいが、水害は何から手をつけて良いかイメージしにくい。

訓練を実施できている施設からも「イメージの欠如が訓練が進まない理由ではないか」との意見が聞かれた。

ヒアリング調査（令和6年11月）結果

■調査結果の整理（つづき）

訓練を実施したことで課題と感じていること

- ・ これまでの訓練において、参考とした水害の避難訓練向けの手引きやツールはなく、そういったものを見つけられなかった。
- ・ 訓練を継続的に続けていくことが難しい（マンネリ化）。
⇒継続性という観点に立つと、外部機関からの認証制度のようなものもあるとよい
（施設の安心・安全のアピールにもつながり、職員のやる気にもつながる）

訓練を実施できているが「継続性への不安」を感じる施設も多く、避難訓練向けの手引きやツールの拡充やそもそもの周知徹底、またモチベーションの確保も重要である。

訓練を実施したことによって感じた効果

- ・ 施設の環境への気づきも生まれてきている（たとえば避難経路となる通路にものを置かないようにするなど、通常業務にも関わりのある行動を起こすようになった）。
- ・ 訓練時に確認された課題は、通常業務にも関わりがある課題として捉えることもでき、普段気が付かない課題に防災を通じて気づくこともできるのではないかと感じている。

訓練を通じて、防災上の効果だけでなく、通常業務への良い影響（副次的な効果）を感じている施設もある。

アンケート調査（令和6年12月～令和7年1月）結果

■アンケート調査の対象施設（再掲）

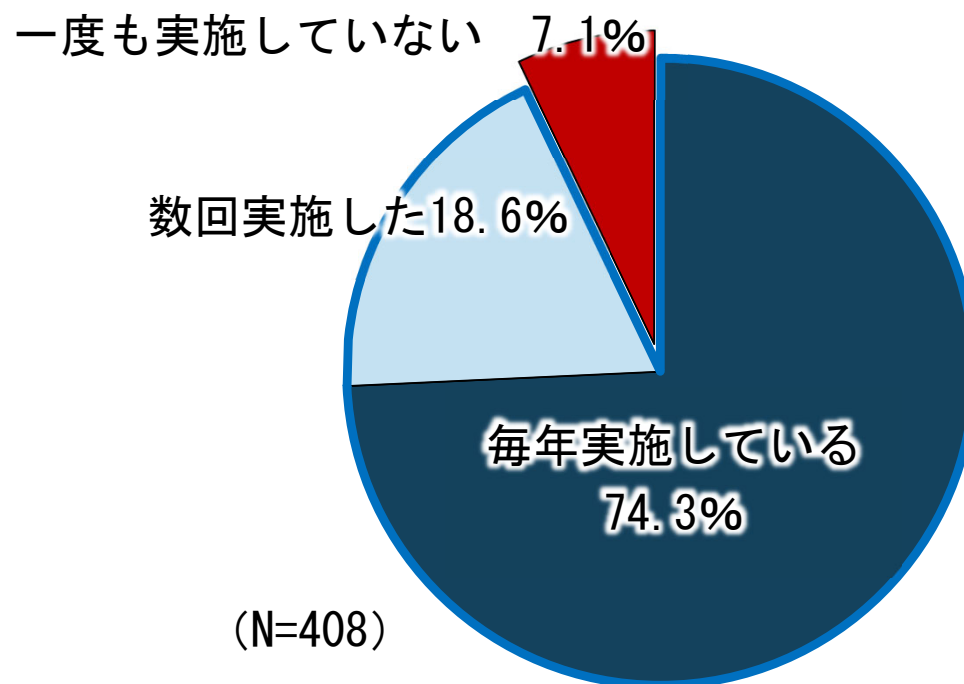
◎対象施設：江戸川区内の要配慮者利用施設1,020施設

◎回収数：413票（回収率：40.5%）

■調査結果の整理

問

貴施設は水害に関する避難訓練を実施したことがありますか。



※訓練を「～実施した」施設（N=379）

「一度も実施していない」施設（N=29）

アンケート調査（令和6年12月～令和7年1月）結果

■調査結果の整理

問

実施したことのある訓練内容について教えてください。

※訓練を「～実施した」施設（N=379）の回答

訓練の実施実績（上位5つ）

- | | |
|--------------|---------|
| 1. 避難経路の確認訓練 | (69.9%) |
| 2. 垂直避難訓練 | (67.3%) |
| 3. 図上訓練 | (39.1%) |
| 3. 持出品の確認訓練 | (39.1%) |
| 5. 情報伝達訓練 | (38.3%) |

要配慮者が利用する施設という特性からか、垂直避難や経路の確認訓練を実施している施設が多いが、すなわち「取り組みやすい訓練メニュー」であるとも解釈することができる。

アンケート調査（令和6年12月～令和7年1月）結果

■調査結果の整理

問

訓練を実施するにあたって活用したことがあるツールを教えてください。

※訓練を「～実施した」施設（N=379）の回答

活用したツールや支援実績（上位5つ）

- | | |
|--|---------|
| 1. 国土交通省作成の手引き（避難訓練の実施ガイド） | (26.1%) |
| 2. 国土交通省作成の
避難訓練企画・運営マニュアル(案)や支援ツール | (12.1%) |
| 2. 江戸川区への相談 | (12.1%) |
| 4. 国土交通省作成の講習会開催マニュアル
(ツール：避難訓練チェックリスト) | (11.6%) |
| 4. そのほか手引き
…江戸川区水害ハザードマップとの回答が多くを占める | (11.6%) |
| ※とくに何も活用せずに施設独自で訓練を実施した | (43.5%) |

国土交通省作成の手引きやツール、マニュアルが上位を占めるが、1番活用されていても1/4の施設にとどまり、周知への課題が確認された（何も活用していない施設が半数もある）。

アンケート調査（令和6年12月～令和7年1月）結果

■調査結果の整理

問

訓練を実施する中で確認された課題や、その課題を解決するために行政へ求める支援がございましたら教えてください。

※訓練を「～実施した」施設（N=379）の回答

訓練を実施する中で確認された課題

- ・ 移動手段（介助含む）への不安
- ・ 備え（備蓄や非常用電源）への不安
- ・ 情報伝達への不安
- ・ 普段と違う状況（夜間・休日）への不安
- ・ 災害時のイメージを持ちづらい
- ・ マンパワー不足（協力体制が未検討）
- ・ 避難後の対応が未検討（引き渡し等）
- ・ 備蓄倉庫や非常用発電機が1階にある
- ・ 避難先施設との訓練も必要

課題を解決するために行政へ求める支援

- ・ 移動手段や避難先の例等の情報提供
- ・ 用具や備蓄品等の購入支援
- ・ 講習会や派遣による研修会
- ・ 定期的な訓練の継続
（その都度課題を認識して改善する）
- ・ 避難訓練の開催支援（地域との繋がり）
- ・ 映像（シミュレーション動画等）の制作
- ・ 人手不足の解消（普段からの課題）
- ・ 相談窓口の開設（Q&AをHPで公開等）

訓練を実施することで、課題（すなわち、計画の不備・不足）を認識できた施設が多く、特に移動手段や避難先確保、マンパワー（訓練、本番）不足に関する課題が多かった。

アンケート調査（令和6年12月～令和7年1月）結果

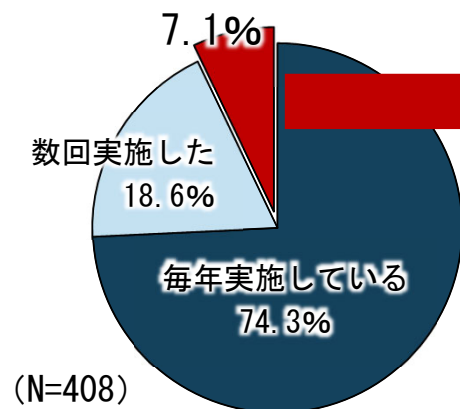
■調査結果の整理

問

訓練が実施できない理由を教えてください。

※訓練を「一度も実施していない」施設（N=29）の回答

一度も実施していない



実施できない理由（上位5つ）

1. 施設職員の協力が得られない (48.3%)
2. 訓練の準備をする時間が確保できない (37.9%)
3. 訓練の進め方がわからない (24.1%)
4. 訓練のイメージがわからない (24.1%)
5. その他 (20.7%)
 - …避難先が遠方で難しい
 - …職員が1人しかおらず利用者が不特定
 - …休業する（営業しない）
 - …地震や火災の避難訓練は実施している

施設職員の協力が得られず、訓練の準備をする時間が確保できないことが上位の理由であり、担当者や管理者がひとりで対応しなければならない施設や、日々の業務で多忙を極めている施設が多く見受けられた。

アンケート調査（令和6年12月～令和7年1月）結果

■調査結果の整理

問

どのような支援があると訓練を実施できそうかご記入ください。

※訓練を「一度も実施していない」施設（N=29）の回答

- ・ どこに避難するか、例でも良いので挙げていただけるとイメージが湧くと思います
- ・ 実際の現場でのバーチャルリアリティーなどからどのように避難するのか、アシストするシステムなどがあるとイメージしやすい。
- ・ 参考にさせていただけるような訓練の雛形があるとありがたいです。／例やプランをみてみたい。／マニュアル・ガイドラインの資料。
- ・ 最初の一步となる、水害に対する具体的な訓練の様子を収めたビデオなどあれば視聴したい。／現実的な避難の順番等シミュレーションが必要と感じた。
- ・ 準備の段階で区職員などがアドバイスを含め、訓練を計画、実行してくれる試作。
- ・ レクリエーション（例：お花見）を兼ねた移動訓練として実施することが考えられる。その際に車いす対応車両の提供等があればありがたい。
- ・ 講習会等で流れがわかる。／講習会、研修会など。／行政からのサポート。

訓練が実施できていない施設からは、参考となるマニュアル・映像資料提供、行政職員も施設訓練に参加し、フォローする等の幅広い意見があげられた。

今後の予定

ヒアリング結果、アンケート結果を踏まえた
「要配慮者利用施設等の水害避難に関する支援方策(案)」 をとりまとめる。
(次回協議会で発表)